西久保コミュニティセンター

TOTO

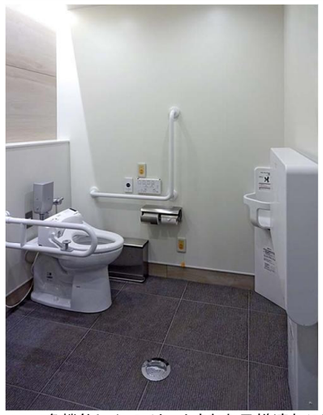
外観

「西久保コミュニティセンター」は、コミュニティ活動や情報発信の場。
学習室や会議室のほか、調理室や茶室などを有し、親子連れや児童、高齢者など、年間延べ10万人に及ぶさまざまな利用者が訪れる。

トイレ入り口

向かって、左側に男性トイレ、右側に女性トイレと多機能トイレが配置されている。地域の方の利用率が高く、トイレ空間は、施設の内装にあわせた親しみやすく落ち着いた色合いの内装としている。

1F 多機能トイレ

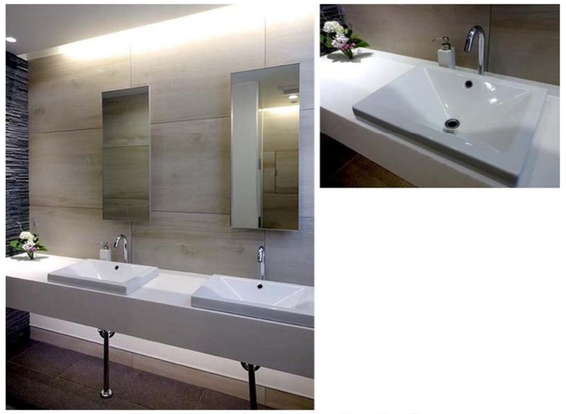


1Fの多機能トイレでは、小さなお子様連れに配慮し、ベビーチェアとベビーシートを設置している。

B1F 多機能トイレ

B1Fの多機能トイレでは、オストメイトに配慮し、汚物流しを設置している。

女性トイレ 洗面コーナー



天井とカウンター下の間接照明が、やわらかな雰囲気を演出している。
訪れる人へのおもてなしとして、カウンター端に水差し用の通し穴が設けられ、生花が生けられている。

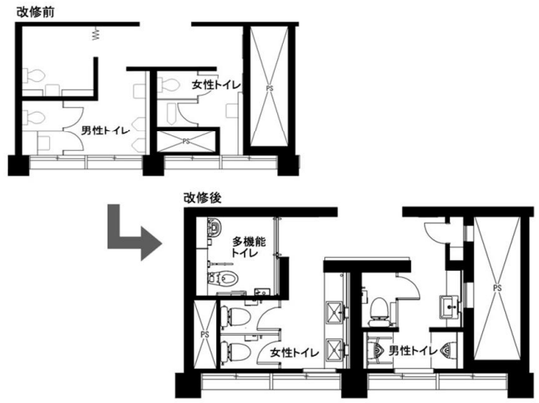
女性トイレ 大便器ブース

大便器は、フラッシュバルブ式と同様に連続洗浄できる、フラッシュタンク式便器を採用。すべての大便器にウォシュレットを設置している。

改修前

築40年の老朽化により、トイレが暗く、臭いことから使いにくいとの利用者の声や清掃後も小便器まわりの汚れやにおいが取れないという清掃面の苦情が寄せられていた。

B1F トイレ図面



改修後の男女トイレは、全面的に配置を見直し、女性トイレの大便器ブースにあった和式便器を洋式便器に変更。改修前窓側にあったパイプスペースを移動し、男女トイレ共に窓からの採光を可能にした。

男性トイレ 洗面コーナー

セルフリミング式の洗面カウンター。カウンターの生花は、施設を運営するボランティアの方（コミュニティ協議会）によって維持管理がなされている。

男性トイレ 小便器コーナー

小便器は、節水性に優れた壁掛式自動洗浄小便器を採用。小便器の足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを採用。ライニングにはフックが設置され、荷物配慮がなされている。

建築概要

名　　称	西久保コミュニティセンター
所 在 地	東京都武蔵野市西久保1丁目23番7号
施　　主	武蔵野市
設　　計	武蔵野市
施　　工	株式会社 吉沢工務店
設備施工	株式会社 保谷工業所
電気設備	三栄電設株式会社
竣工年月	2016年2月

水まわりの特長

＜建物の特徴＞
西久保コミュニティセンター（愛称＝西久保コミセン）は、武蔵野市内に16ヶ所設けられたコミュニティセンターのひとつ。イベントやクラブ活動などが、地域の住民による自主的な企画と運営のもと開催されており、コミュニティづくりの拠点として利用されている。お子様連れや児童、高齢者などさまざまな利用者が訪れ、災害時には「地域支え合いステーション」となる。

＜改修の経緯＞
築40年の老朽化、経年変化により、トイレが暗い・におう・使いにくいとの利用者の声や、清掃後も小便器まわりの汚れやにおいが取れないという清掃面の苦情が寄せられていたため、配管更新工事と同時期にB1Fから2Fまでトイレすべての改修を行った。パイプスペースを移動させることで窓からの採光を可能にし、さらに湿式清掃から乾式清掃へ変更するなど、全面的な改修によって、より快適で使いやすいトイレへと生まれ変わった。

＜トイレの特長＞
さまざまな利用者が使いやすいよう、多機能トイレも各階で機能を分散させている。環境に配慮し、節水型の小便器やフラッシュタンク式便器を採用。内装は温かみのあるベージュを基調とし、経年変化をしても美しい素材を選択するなど、地域の方に永く愛されることを目指したトイレとなっている。

2016.08 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2016 All Rights Reserved　35023